

## 16. 計算神経衰弱

大阪府立咲くやこの花中学校 数学研究部

### 1. 子どもたちへのメッセージ

記憶力と計算力をフル活用！ トランプゲームの「神経衰弱」に計算の要素を組み込んでひと味ちがうゲームを楽しもう！

### 2. よういするもの

0～12までのカード 各4枚（計52枚）

### 3. やりかた

#### 【基本ルール】

カードはよくきって、52枚すべてのカードを裏向きにして並べます。じゃんけんなどで順番を決めたら、まず1番目の人がこの中から4枚をめくって表向きにします。その4枚のカードに書かれた数で、四則計算を使って等式を作ることができたら、その4枚すべてのカードを獲得し、更に新たな4枚と同様にして続けることができます。等式を作ることができなかつたら、4枚のカードを裏向きに戻し、2番目の人に順番が移ります。

並べたカードがなくなるか、残ったカードで等式ができなくなればゲーム終了です。それぞれ何枚とれたかで勝負がきまります。

（等式の左辺と右辺の枚数は3枚・1枚に分けても、2枚ずつに分けてもかまいません）。

#### 【追加ルール】

更に難易度をあげたい人は、表向きにするカードを3枚にして、四則計算の他、階乗や $\sqrt{\quad}$ ・指数などの計算を使えるようにすると、難易度があがります。

### 4. わかること

さまざまな計算の方法や特徴をカードゲームとして楽しみながら学習することができます。また、与えられた式を計算するのではなく、自分で工夫して式を作るので、4つの数の大小関係から数と演算の組み合わせを考えていく発想の柔軟性を磨いていくことができます。

### 5. 問い合わせ先

大阪府立咲くやこの花中学校 数学研究部 宛 TEL06-6464-8882

### 6. 参考になる資料

このゲームは、咲くやこの花中学校の数学研究部員が考えたオリジナルのゲームです。「計算」をベースにしながら、トランプゲームの「神経衰弱」をヒントに「記憶」する要素を加えることでカードを選べる余地ができ、より戦略的にゲームできるよう考えました。また、様々な年齢の人たちがゲームとして楽しめるために、カードの種類や枚数、使用する演算等も、数学研究部員で試行・検討しながらルールを工夫しました。